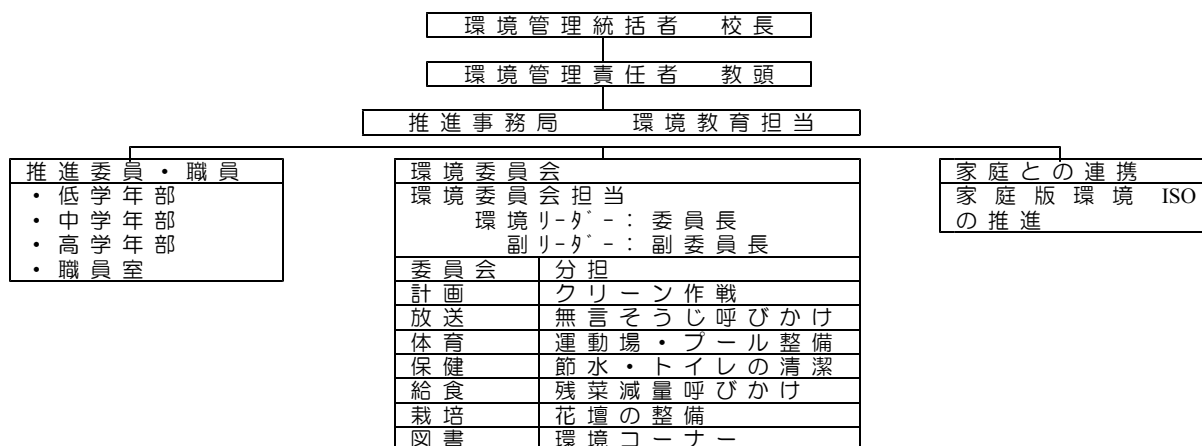


みんなでがんばる環境宣言 瀬戸小から世界に広げる 一人一人の小さな努力

### 1 取り組みの組織図



### 2 宣言

#### ☆瀬戸っ子Eco宣言（児童の宣言）

- ①電気を大切に使います  
→電気の消し忘れ0 電気をこまめに消す
- ②水を大切に使います  
→歯みがき：コップ半分 そうじ：バケツ半分
- ③燃えるゴミの量を減らします  
→ゴミは分けて捨てる
- ④学校をきれいにします  
→無言そうじで時間いっぱいそうじをがんばる  
見つけたゴミは拾って捨てる
- ⑤物を大切に使います  
→持ち物の記名 落とし物、なくし物0

児童集会では、環境委員会が寸劇を通してゴミの分別を呼びかけた。

#### ☆瀬戸っ子Eco宣言（職員の宣言）

- ①電気を大切に使います→使わない電気やOA機器の電源は切る
- ②水を大切に使います→水の使い方の工夫
- ③ゴミを分別し、裏紙を再利用します。
- ④学校をきれいにします→校舎内外の美化、教室や担当場所の整理整頓
- ⑤学校の環境の取り組みを家庭に伝えます。

### 3 行動

#### (1) 瀬戸っ子 Eco 宣言 具体的な取り組み

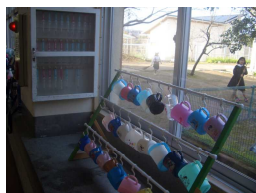
##### ①節電

使わない教室や、トイレや廊下などの電気はこまめに消すように、環境委員会が呼びかけを行っている。天気の良い日の昼休みや掃除時間は、電気を消す。

職員室では、スイッチに場所名を表示し在室する職員が少ないときは、部分的に照明を消している。また、エアコンやストーブの使用は、できるだけ控え、温度設定にも気をつけるようにしている。

## ②節水

掃除の時間はバケツ半分の水を使うことが定着してきている。バケツに目印をつけるなど、視覚的に意識付けをしている。



歯みがきタイムの前にあらかじめ水を汲んで（コップ半分）自分の席で歯みがきをすることで水を流しっぱなしにしないようにしている。

その他にも、節水の工夫として、習字の筆は、バケツの水を使って洗うようにしている。

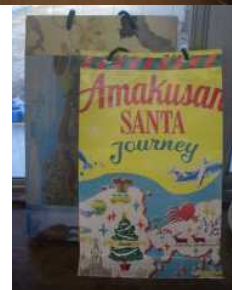


## ③ゴミの減量

今年度は、閉校の年であり、多くの廃棄物が出るので、燃やせるゴミに重点を置き、減量に努めている。木曜のゴミ収集日に合わせて「今年度は、燃えるゴミの量をなるべく減らしていきたいと思っているので、大きな紙は紙リサイクルに出したり、きれいなプラスチックはプラリサイクルに出したりして、分別を心がけましょう。また、紙などのむだづかいを減らすようにしましょう。」と放送で、呼びかけを毎週水曜日に行っている。集めたゴミは、環境委員会が、分別の状況をチェックしながらゴミ出しを行う。定期的にエコステーションの整備を行い、いつでも誰が見てもゴミの分別がしやすいようにしている。

職員室では、裏紙の利用のために裏紙を置く場所を整備したり、小さな厚紙や色紙を利用できるように、分かりやすくまとめている。

また、ポスターの紙は上質で丈夫なものが多いので、掲示期限の過ぎたものの裏紙を利用したり、書類入れ等の紙バッグを作成したりしている。



## ④校舎内外の美化

朝ボランティアの時間（登校後から始業までの時間）高学年を中心として校内の清掃や、除草作業を行っている。

環境委員会で掃除コンクールを企画し、掃除の時間は、全校で無言掃除に取り組んでいるが、低学年の児童への徹底が難しかった。掃除の終わりには、きちんと反省を行っている。

栽培委員会を中心に花壇の整備を行っている。各学級でも学級園の整備や一人一鉢の活動に取り組んでいる。落ち葉で堆肥を作り活用している。



## ⑤家庭への広がり：家庭版環境 ISO の取組

### ◎夏休み『エコチャレンジカード』

毎年、夏休みに家庭版環境 ISO の取組を下記のような内容でお願いしている。

#### 1 実施期間

夏休み期間中の連続した3日間

#### 2 取組の方法

- ①「環境に優しい行動」を意識していますか？ アンケートで普段の生活を振り返ってみる。
- ②『E c oチャレンジカード』の、環境に優しい行動（例）を参考にして、家族で取り組むものを3つ決め、下の表に書き入れる。
- ③連続した3日間、家族で1日の行動をふり返り、○、△、×で振り返る。
- ④3日間終了したら、合計の欄に○の数を記入する。
- ⑤感想の欄に、3日間をふり返って感想を記入する。
- ⑥始業式の日に担任へ提出する。

ほとんどの家庭からエコチャレンジカードの提出があり、それぞれの家庭で取り組まれた。

【家庭で実践されていることや感想など】

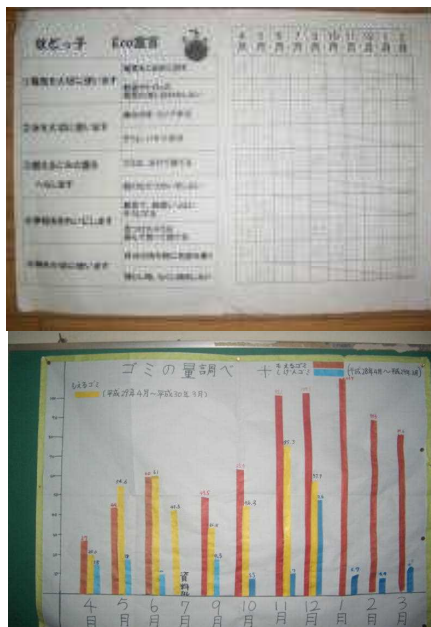
- ・夜は、テレビを消し早く寝る（9時に消灯）。家族が一つの部屋で過ごす。食器を洗う時の洗剤を減らす（エコたわし）。いらぬ物を買わない。洗濯を洗濯板でする。など各家庭で考えられた取り組みもあった。
- ・普段から取り組んでいる。意識する機会となった。続けていきたい。できていないところをできるようにしたい。などの意見が多く見られた。

**4 点検・記録**

毎月20日を環境の日とし、各学級でEco宣言の実施ができていないかをチェックしている。環境委員会で各学級をまわり挙手でできている人数を調べている。はじめは10項目を調べていたが、時間がかかりすぎたために、5項目に絞って調べるようにした。挙手での集計なので正確というわけではないが、おおよその傾向をつかむことができる。また、定期的に声をかけることになり、意識付けという面で有効な取り組みであると考えている。

燃えるゴミの量は、毎週環境委員会で計量をし、グラフに記入をしている。今年度は、燃えるゴミの量だけを集計した。昨年度のグラフ（燃えるゴミ・・・赤、燃やせないゴミ・・・青）を利用して今年度の燃えるゴミ・・・黄で表し、昨年度との比較ができるようにした。また、校内放送で全校児童に知らせ、啓発をしている。

今年度は、夏休み『エコチャレンジカード』で環境について、「意識していますか？」のアンケートを実施した。集計を行い職員研修で報告をした。結果は以下の通り。



項目	◎	○	△	?
買い物に行くときにはマイバックを持参します	21.4	35.2	42.6	0.8
資源物（カン、ペットボトル、紙類など）分別します	70.5	27.1	1.6	0.8
ご飯やおかずは残さず食べます	39.7	52.9	7.4	
冷房の温度は28℃に設定します	18.9	31.1	45.9	4.1
使っていない照明は消します	51.7	40.8	7.5	
テレビやゲームの時間を減らしたり、見ていないときには消します	32.5	45.0	21.7	0.8
歯みがきや、シャワーの時はこまめに水を止めます	42.6	45.9	11.5	
お風呂の残り湯を洗濯に利用します	38.3	19.1	40.0	2.6
近くへの外出は、自転車や歩いて行きます	32.8	35.2	28.7	3.3
冷蔵庫の開閉回数を少なくします	27.0	52.5	20.5	

(数字は小数第1位までの%)

**5 見直し**

環境委員会の子どもたちと瀬戸っ子 Eco 宣言について振り返りを行った。

ゴミの分別はよくできていたが、無言掃除があまりよくできていなかった。無言掃除については、「掃除に必要な話はすべきだが、いらぬおしゃべりはしはしない。」と言うことで職員朝会の時に確認をとり、各学級の児童に話をしてもらった。また、Eco宣言のチェックの時には「できている」が多かったものの、バケツの水の量が多すぎたり、トイレの電気の消し忘れが見られたりしたので、電気と水のチェック週間を設けた。放送で呼びかけて、1週間の点検活動を行った。点検活動の期間中は、教室・トイレの電気の消し忘れはほとんどなく、水道の止め忘れもなかった。

年度末の児童総会の中で「瀬戸っ子 Eco 宣言」について全校生徒で振り返りを行い、来年度以降、統合した新本渡東小学校でも、引き続き環境を意識した生活を行うよう呼びかける。

## 6 成果と課題

### 【成果】

- ・Eco 宣言では、毎年少しずつ見直しをするが、継続した取組を行っているので、学校全体に定着してきている。しばらくすると、意識が薄れてしまうところもあるが、今年度は毎月のチェックを行ったり、呼びかけをしたりすることで、児童の中に意識付けができた。
- ・特に、燃やせるゴミについては、昨年度より20%ほど減量することができている。一例として、学習発表会後には使用済みの段ボールが多く出るが、ハガキサイズ以上のものは、燃やせるゴミに出さずに、まとめて資源ゴミに出してあった。
- ・各学年ごとに環境学習も行っており、環境に対する意識は高まっている。
- ・夏休みに各家庭でもエコチャレンジに積極的に取り組んでもらった。アンケートから、どの項目も意識している(◎、○)家庭が半数以上であり、参加人数も多く、意識が高いことが分かった。特に、「資源物の分別」、「節電」、「節水」は、◎の割合がとても高く、取り組みが定着しており、「マイバッグ持参」、「冷房の温度設定」「お風呂の残り湯の再利用」などの項目があまりできないという実態をつかむことができた。

### 【課題】

- ・子どもにとって、ゴミの分別はなかなか難しいようで、1学期のはじめに環境委員会が分別について呼びかけた。地域のゴミ処理場では、高温で焼却するため汚れたプラスチックは燃やせるゴミとして分別してよいということで、大人が、その地域の正しい分別の仕方を理解して、教えていかなければならないと感じた。
- ・無言清掃は、個人差が大きく教師の目が届かないところでは徹底できていない場面も見られる。低学年にとっては声をかけ合いながら、楽しく掃除を行うことも必要であり発達段階にあった取り組みをしていかなければならない。職員で共通理解を図りながら、指導している。
- ・掃除用具の使い方や片付けについても環境委員会で発表を行った。使った物は元の場所に戻す、ものを大切に扱うなども課題であると感じている。
- ・今年度で瀬戸小学校は閉校になるため、たくさんものを整理していかなければならない。継続して使用するものと廃棄するものを見極め、資源となるものや再利用できるものを分別していかなければならないと思う。また、最後まで、子どもたちとともに、美しい瀬戸小学校にしていきたい。

